

令和7年度 可児市の決算

目次

・ P 1	予算・決算とは
・ P 2	歳入
・ P 3・4	歳出
・ P 5・6	4つの重点方針
・ P 7・8	借入金・基金
・ 巻末	財政指標

はじめに

可児市では、市政の情報を市民の皆さんにより広く知っていただけるように取り組んでいます。予算や決算は、聞き慣れない言葉が多く使われますが、市民の皆さんの生活に関わる大切なことなので、しっかりとお伝えできるよう、この資料を作成しています。

そもそも…
予算や決算って？

予算



まちの“計画書”

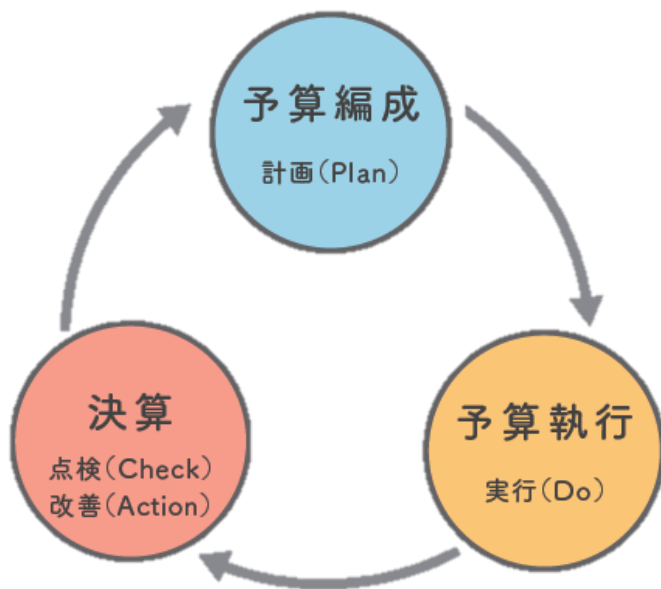
決算



まちの“報告書”

◎予算から決算までの流れ

予算や決算は、市民の皆さんの代表である議会で審査されます。



●予算編成

可児市にいくらお金が入りそうで、何にいくらお金を使うのか計画を立てます。

●予算執行

計画に沿って、事業を行っていきます。

●決算

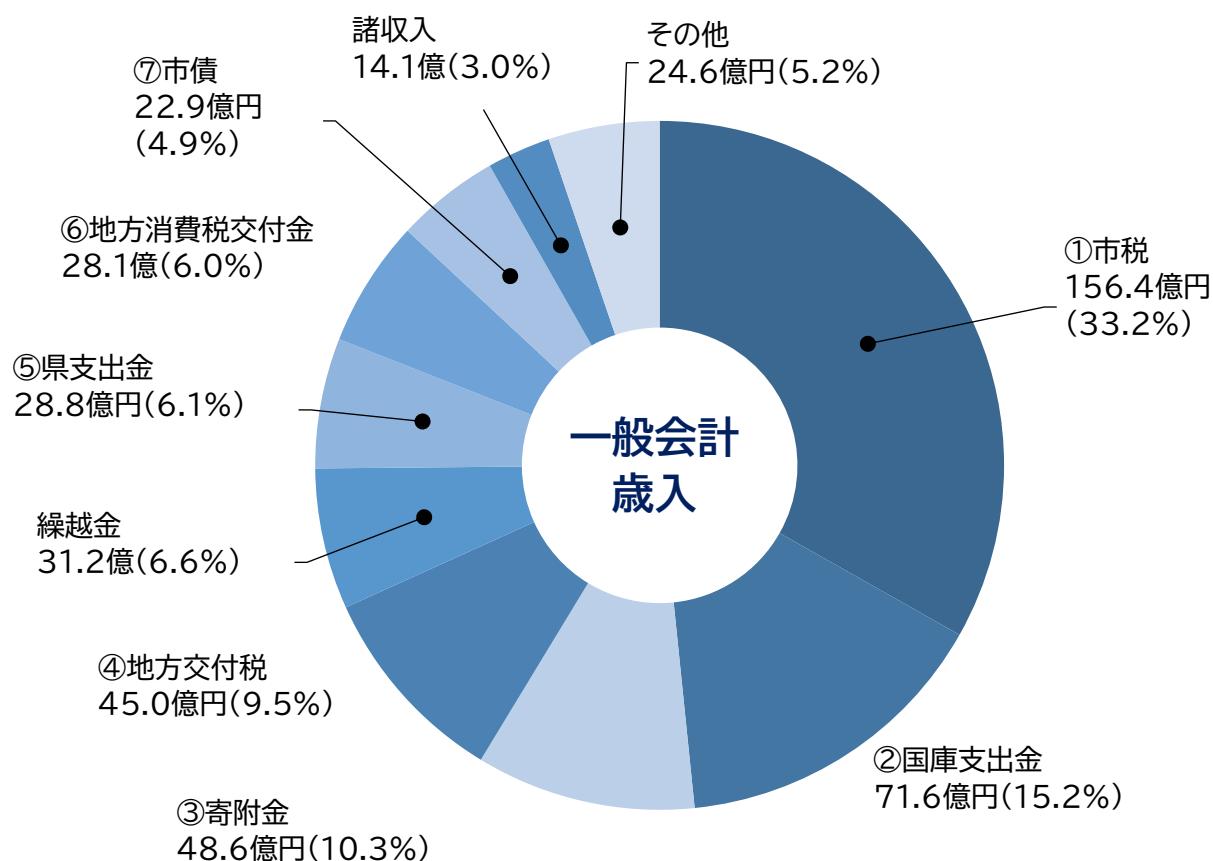
可児市にいくらお金が入り、どういったことにいくら使ったのかを整理します。それを踏まえ、各事業を点検し、より良い市民サービスを提供できるよう、次年度以降の予算に生かしていきます。

MEMO 新たに予算が必要となったときはどうするの？

災害など不測の事態が起きたときなど、新しく施策や事業を行う必要がある場合、予算（＝計画）を変更する必要があります。これを補正予算といいます。令和7年度は物価高騰への対応に必要な費用など、計7回の補正予算を組みました。

※補正予算・・・新たに予算を追加したり、変更したりして必要なことに対応すること。

令和7年度可児市一般会計の 1年間の収入は471億3,054万円です



①市税

可児市で暮らす人が納める個人市民税、市内に事業所を持つ企業等が納める法人市民税、市内に土地や家などを所有する人や企業等が納める固定資産税などです。

②国庫支出金・⑤県支出金

国（県）が、市の事業にかかるお金の一部を支援してくれたり、負担してくれたりするお金です。

③寄附金

可児市を応援してくれる全国の個人、企業から寄せられた「ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）」や、個人・団体からいただいた寄附金などです。

④地方交付税

日本全国どこで暮らしても同じような行政サービスを受けられるように、可児市の税収などだけでは足りないお金を国が分配してくれるお金です。

⑥地方消費税交付金

物を買ったときなどに支払う消費税が、人口などに基づいて各市に分配されます。

⑦市債

主に公共施設の整備などを行うために銀行などから借り入れるお金のことです。

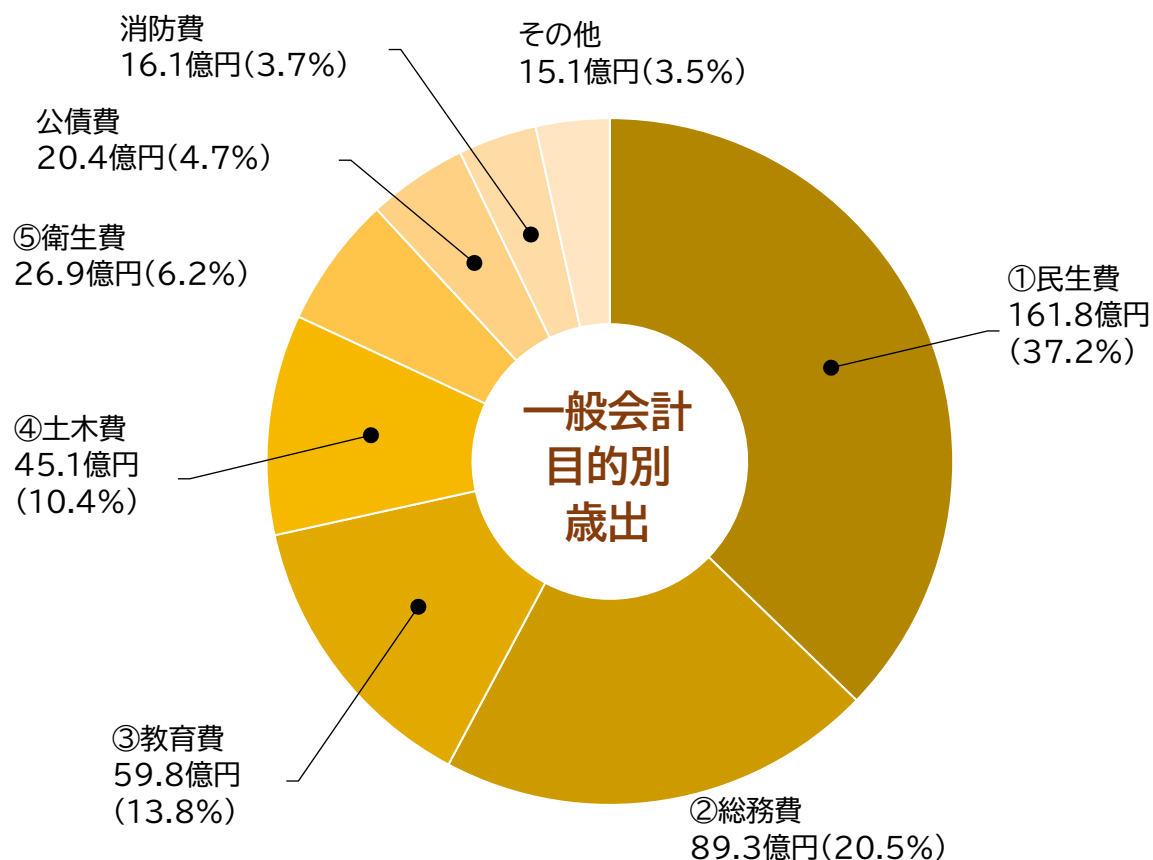
（なぜお金を借り入れるのかなど、詳しくは7ページをご覧ください。）

MEMO

一般会計ってなに？

「一般会計」とは福祉や教育、道路整備など市の基本的な事業全般を行うメインの財布のことで。これ以外に国民健康保険や水道など特定の事業を行うための専用の財布として「特別会計」や「企業会計」があります。可児市では一般会計以外に12の会計を設けています。

令和7年度可児市一般会計の 1年間の支出は434億5,250万円です



①民生費

子どもから高齢者まで、市民の皆さんが安定した生活を送ることができるような福祉にかかる費用です。

②総務費

さまざまな行政サービスを提供できるよう市政運営全般にかかる、諸々の費用です。財産管理や税の賦課・徴収、選挙、統計などにかかる費用が含まれます。

③教育費

幼稚園や小中学校での教育にかかる費用や、文化創造センター・アーラや体育施設の維持管理・運営をはじめとした、文化やスポーツなどにかかる費用です。

④土木費

道路の舗装や公園の維持管理などインフラ整備にかかる費用です。また、災害に備えて河川などを改修する費用も含まれます。

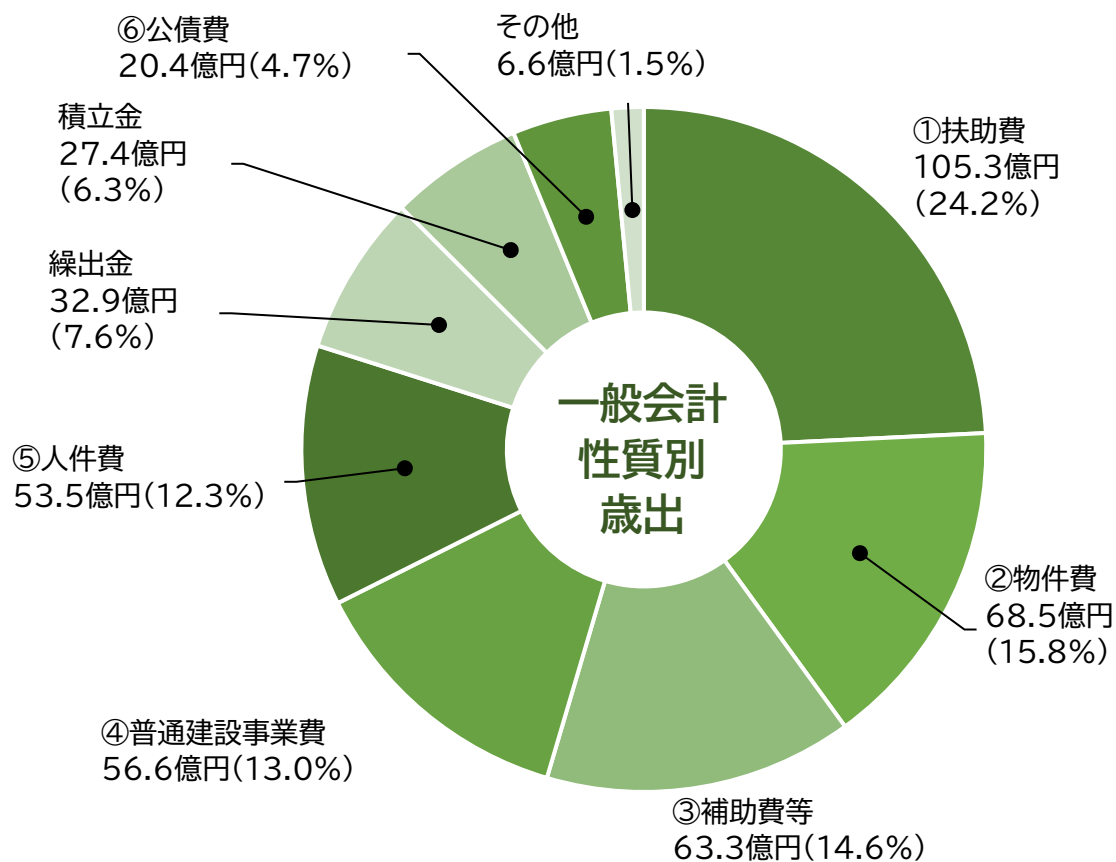
⑤衛生費

予防接種やごみ処理など、健康や生活環境の維持にかかる費用です。

MEMO

目的別歳出(決算)ってなに？

市のお金がどんな分野(目的)のために使われたかを示す分類です。学校教育や子育て、高齢者福祉、道路の整備など、どの分野にお金がたくさん使われているかが分かります。



①扶助費

子どもから高齢者まで、さまざまな援助にかかる費用です。病気などで生活に困っている人を支援する生活保護や障がいのある人が自立した生活を送れるよう各種福祉サービス、また保育園への保育費などがあります。

②物件費

各種市民サービスに必要となる業務委託料や物品の購入費などの費用です。

③補助費等

ごみ処理を担う可茂衛生施設利用組合や消防・救急を担う可茂消防事務組合の負担金、個人や各種団体に交付する補助金などの費用です。

④普通建設事業費

道路や公共施設などの整備にかかる費用です。

⑤人件費

職員の給料や、議員報酬などの費用です。

⑥公債費

道路や公共施設の建設などを行うために、銀行などから借り入れたお金（市債（元金と利息））を返済する費用です。

MEMO

性質別歳出(決算)ってなに？

市の支出を経済的な性質（役割）で分類したものです。扶助費や人件費のように固定で支払わなければならないお金の割合などが整理され、可児市の財政にどれくらいゆとり（柔軟性）があるかなどが分かります。

令和7年度の主な取り組み（重点事業）

可児市が重点的に取り組む4つの方針に基づいて行った主な事業を紹介します。

【子どもの笑顔と子育て世代の安心づくり】

育児や学校生活で不安を抱え込まないように

子育てに悩みや不安を持つ保護者同士で、気軽に相談や情報交換をしながら子どもとの接し方のヒントを学ぶ、「親子関係形成支援事業」を実施しました。

また、不登校や学校生活の悩みなどで不安を抱える子どもの居場所づくりとして、小中学校の校内教育支援センターでの支援を強化しました。



帷子児童センターに設置した屋外遊具

子どもが快適に過ごせる環境づくり

令和7年度は、桜ヶ丘小学校で古くなった建物や設備を全面的に改修する大きな工事や、小中学校計6校のトイレの洋式化、多目的トイレの整備などを行いました。

また、子どもが楽しく過ごすことのできる居場所づくりとして、子どもたちの意見を聞きながら帷子・桜ヶ丘児童センターに遊具を設置しました。

高齢者の足を確保

公共交通機関の利用が難しい高齢者の移動支援を行っている団体に、送迎用の車両を無償でお貸しする取り組みとして令和6年度にスタートした「住民参加型移動支援モデル事業」では、新たに帷子地区の団体へ1台の貸し出しを行いました。今後も地域の皆さんと協力して、移動に困らないまちづくりを進めていきます。



移動支援を行う団体への講習の様子

いつまでもすこやかに

令和7年度は新たに65歳以上の方の肺がん検診を無料にしたり、国民健康保険に加入されている方について、特定健診の自己負担額を500円に引き下げ、一部の年齢を対象に脳ドックの受診費用に対して1万円を助成しました。病気を早い段階で発見し、市民の皆さんにいつまでも健やかに過ごしていただけるよう取り組みを進めていきます。

スポーツによる魅力づくり

前年度までに引き続き市民スポーツの拠点である可児市運動公園の再整備を進めました。令和7年度は、グラウンドの人工芝整備やスタンドルーフの設置などを行い、令和8年3月末に市原産業スポーツフィールドが完成しました。このグラウンドは、全面に人工芝を張り、野球、サッカー、ホッケーといったスポーツはもちろん、様々なレクリエーションにも利用できる多目的グラウンドとして生まれ変わりました。

地域産業の担い手づくり

将来の地域を支える人材を育てるために、小・中学生とその保護者の皆さんを対象に「かにっこlaboバスツアー」を開催しました。市内の事業所を訪ね、職場見学やワークショップを体験しました。子どもたちが地域の産業に触れ、そこで働く人たちの想いや技術を知る、貴重な機会となりました。



市原産業スポーツフィールド

災害に強いまちづくり

老朽化した防災行政無線のデジタル化を進めました。令和7年度は屋外放送用機器や災害対応する職員と連絡を取り合うための無線機などをデジタル化し、災害時にも安定して市民の皆さんに情報をお伝えできる環境を整備しました。

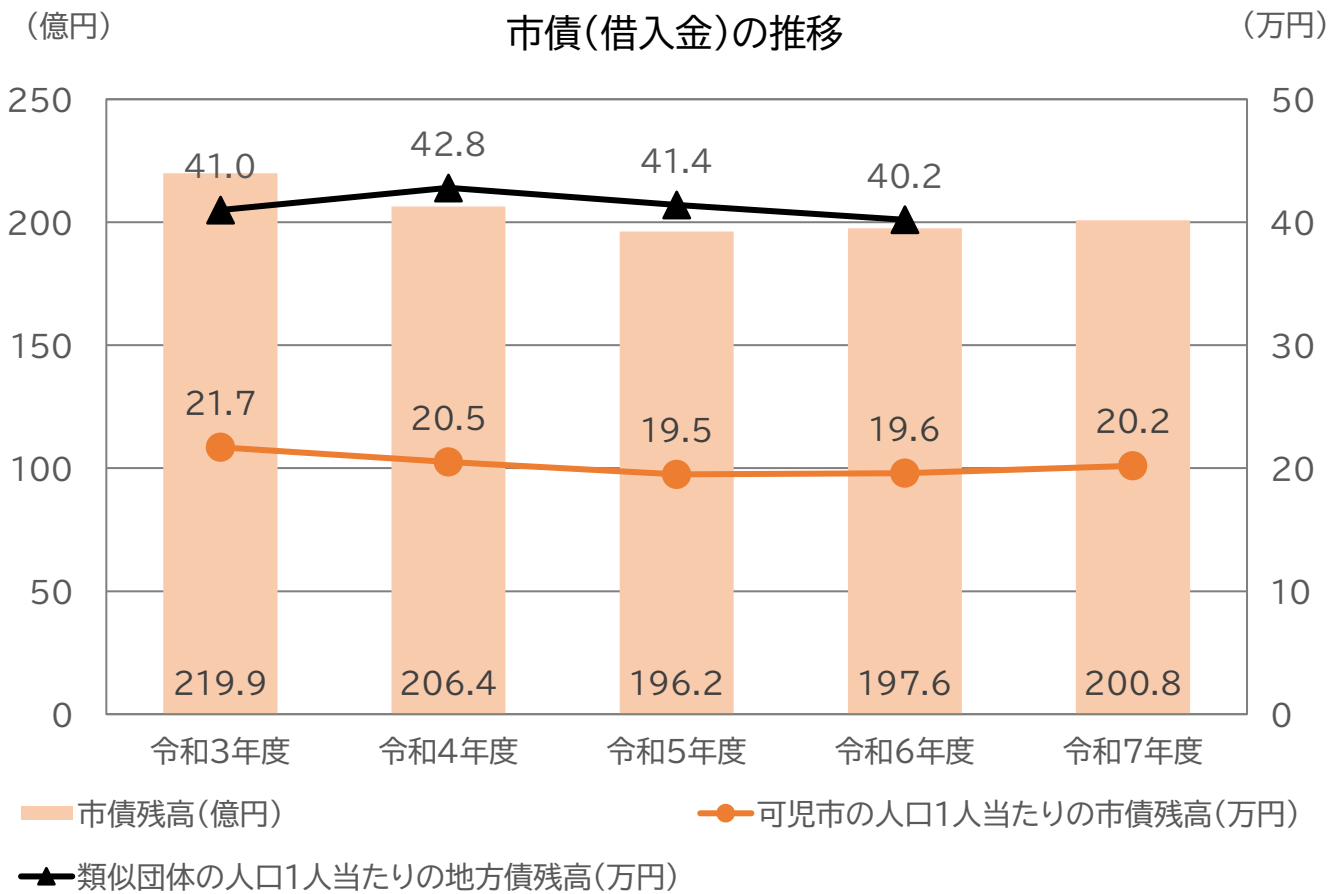


改修された市道50号線(虹ヶ丘)

市内の道路を安全・快適に

歩行者も車に乗る人も安心して通行できるよう、傷んだ道路舗装を直す工事などを行いました。令和7年度は前年度よりも大幅に工事箇所を増やし、車の多く通行する主要な道路だけでなく、道幅の狭い生活道路も含めてより多くの道路を整備したり、道路照明灯のLED化工事を行うなど、安全で快適なまちづくりを進めました。

計画的にお金を借りています



市債は可児市の借金にあたるものです。

市債残高は、近年減少傾向で推移していましたが、令和7年度は小中学校の大規模改修事業や道路照明灯のLED化事業などの大型事業もあり、令和6年度に比べて約6千万円増加しました。しかし、類似団体(※)と比較すると、人口1人あたりの市債残高は半分程度となっています。

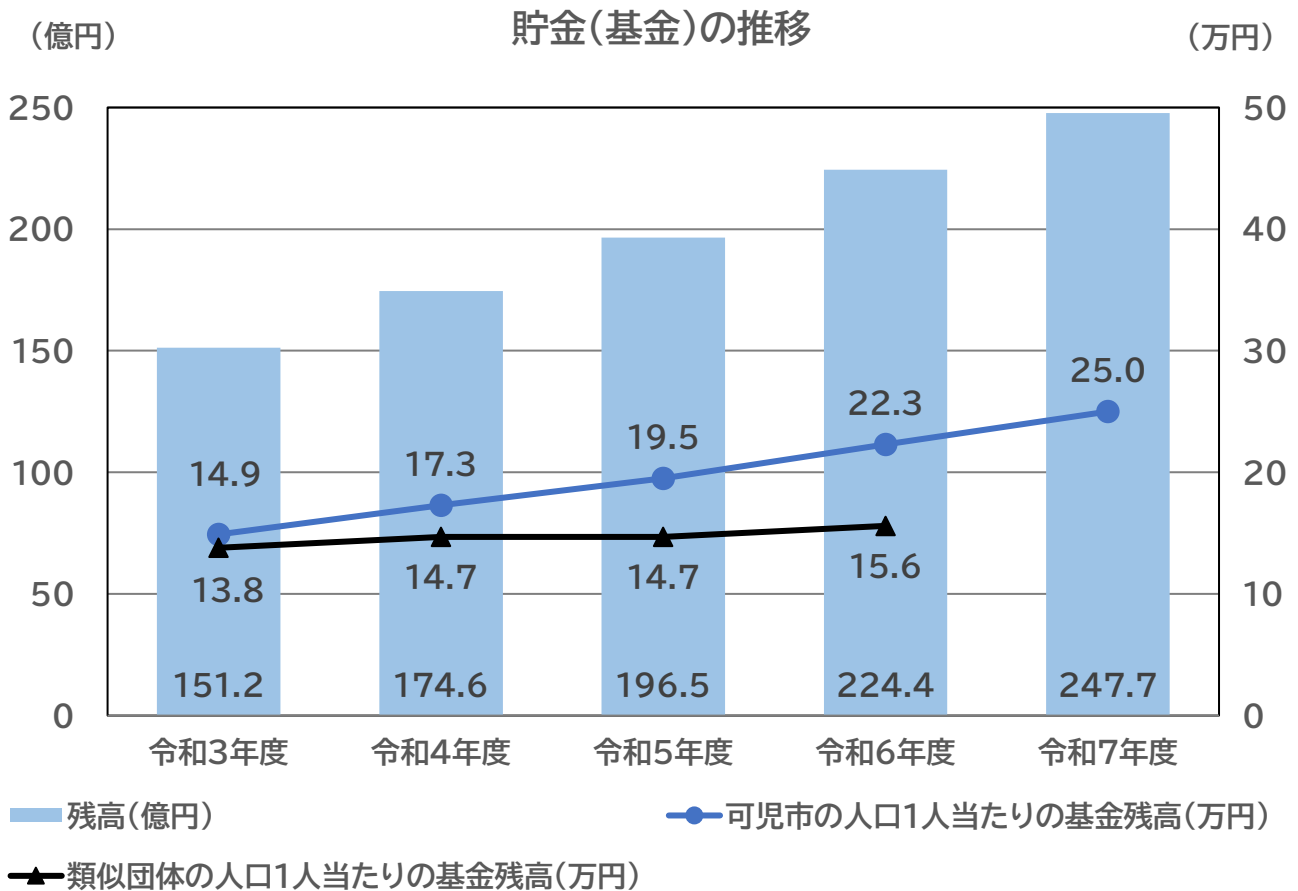
※類似団体…可児市と同じような人口規模や産業構造を有する自治体。(関市、愛知県犬山市など)

自治体が借り入れできるのは、インフラや学校の整備など建設事業に限られています(一部除く)。つまり、収入が少ないからといって、その不足分を補てんするようなかたちでは、お金を借りることはできません。

MEMO 市には、基金(貯金)があるのに、なぜお金を借りるの？

お金を借りることができる事業は上記で説明したように、道路や施設の整備などに限られますが、こうしたものは、将来にわたって多くの人が使うものになります。よって、お金を借りて分割で支払うことで、将来にわたり広い世代で負担していくという目的もあります。

将来に備えて貯金しています



基金は可児市の貯金にあたるものです。

基金残高は、令和3年度末では151.2億円でしたが、令和7年度末には247.7億円となり、増加傾向にあります。類似団体と比較しても、人口1人当たりの基金残高は高い水準で推移しています。

※可児市の主な基金

財政調整基金：災害対応や予算編成時の財源として使います。

公共施設整備基金：市役所庁舎や市内小学校、中学校、地区センターをはじめとした公共施設の更新費用として使います。

基金は自治体の条例に定めることで、目的ごとにつくることができます。可児市では、上記2つの基金のほかに12の基金を設置しています。

MEMO 基金の役割って？

それぞれの基金には役割があります。例えば、財政調整基金は、災害などの不測の事態や年度間の財源不足に備えるために積み立てています。また、公共施設整備基金は、公共施設の維持や更新に関する計画に基づいて、今後、整備する施設が集中する年度に備えてお金を積み立てています。

自治体の財政状況を知るには こんな指標があります

指 標	説 明	令和7年度決算 算出結果	令和6年度決算 類似団体平均	令和6年度決算 県内平均
自治体の財政力！ 財政力指数	地方公共団体の財政力を示す指標です。財政力指数が高いほど財源に余裕があり、1を超えると財政的に豊かということで普通交付税が交付されません。	0.79	0.70	0.55
低い数値ほど良好！ 実質公債費 比率	借り入れた市債を返済するためのお金が、見込まれる収入に占める割合を示すもので、低い数値ほど良好となります。	△ 2.1%	6.5%	4.7%
将来に負担はある？ 将来負担比率	市債残高をはじめとした負担しないといけないお金について、将来財政を圧迫する可能性がある可能性の度合いを示すものです。	負担見込額 なし	6.0%	負担見込額 なし

可児市の財政力指数は、県内の市町村で比較したとき、岐南町、各務原市、大垣市、岐阜市に次いで5番目に位置しています（令和6年度時点）。これは、市税収入をはじめ自己調達できるお金がある程度確保できていることを示しています。自治体の将来的な負担を示す指標となる実質公債費比率や将来負担比率から見ても、可児市の財政状況は良好な状態を維持しています。これまでお金を借り入れてきた市債残高が他の市町村と比較しても、少ないことが主な要因となっています。

可児市では、これからも市民の皆さんや企業とも連携して「住みごこち一番・可児 ～すこやかに、にぎやかに、おだやかに暮らせるまち～」の実現を目指していきます。

